

現代社会研究

Contemporary Society

*Faculty for the Study of Contemporary Society,
Kyoto Women's University*

Vol. **3**

March 2002

京都女子大学

現代社会研究

第 3 号

現代社会学部

論文

- 地域政治への女性参画を阻む要因……………竹安 栄子… 5
 飛鳥地域づくり交通社会実験について……………榎村 久子… 21

研究ノート

- 浜松の企業と風土の研究（その2）……………伊藤 正憲… 39
 What makes Johannes de Silentio sleepless?
 —An universal prescriptivist reading of Kierkegaard's *Fear and Trembling*
 ……………EGUCHI Satoshi… 47

公開講座報告

- 「性差」を考える——自然科学と人文・社会科学のクロスオーバー…………… 53
 序 Women get sicker, but men die quicker ……………柏岡 富英… 54
 身体的性差と社会的性差：日本女性史の視座……………脇田 晴子… 57
 性差、性淘汰、雄と雌の対立と葛藤……………長谷川真理子… 67
 生命科学と性差……………坂東 昌子… 74
 脳にみる構造的性差と機能的性差……………功刀由紀子… 85
 二つの性差の関連について考える……………井上真理子… 93
 性差の初期の発達……………谷村 覚… 103
 パネル討論まとめ……………前田佐和子… 111
 現代社会学部公開講座「性差を考える」を終えるにあたって……………前田佐和子… 116

書評

- 「虐待と離婚の心的外傷」棚瀬一代著……………杉本 孝子… 119
 杉本孝子氏の「書評」へのリプライ……………棚瀬 一代… 125

- Abstracts**…………… 129

学部紀要刊行規程

○刊行基準

1. 京都女子大学現代社会学部紀要の編集発行責任者は現代社会学部長である。
2. 現代社会学部紀要のタイトルを、「現代社会研究」(以下、「紀要」と称する)とする。
3. 紀要は原則として年2回刊行する。2001年度発行日は、以下のとおり。
11月30日刊行(第2号)
2月28日刊行(第3号)
4. 原稿募集締切は、2001年度は以下のとおり。
7月31日締切(第2号)
11月30日締切(第3号)
5. 2002年度原稿募集締切は、以下のとおり。
4月30日締切(第4号)
9月30日締切(第5号)

○投稿者の資格

京都女子大学現代社会学部紀要「現代社会研究」に投稿出来る者の資格を、次の通りとする。

1. 京都女子大学の専任・非常勤教職員
2. 紀要委員会が適当と認める者

現代社会研究 第3号

2002年3月10日

発行 京都女子大学現代社会学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

電話: 075-531-9122 FAX: 075-531-9124

Email: bulletin@cs.kyoto-wu.ac.jp

Web: <http://www.cs.kyoto-wu.ac.jp/>

編集委員長 柏岡富英

委員 飯田哲也

江口聡

澤敬子

南野佳代

印刷 有限会社 トヨダ印刷企画

表紙デザイン 小波秀雄
